

## 授業の様子を紹介します

本号では私が近頃テクテクと校内を歩いていて、

「お！面白そうなことやってる！」

と察知をし、覗かせていただいた授業の一部を紹介したいと思います（頑張り過ぎると続かないので、本当にザックリと…）。

まずは国語の授業です。



テレフォンショッピングの様に、ある商品について、聴衆によりよく紹介するプレゼンテーションに挑戦していました。

【評価のポイント プレゼンテーション20の技術】

A 基礎系列 (基本的な技術や態度)	①姿勢…背筋を伸ばす、胸を張るなど、良い姿勢で堂々とできていたか。 ②呼吸…たっぷり息を吸って話せていたか。 ③発声…適切な音量で話せていたか。(しっかり聞こえたか)。 ④口形…口をしっかり開けて、ハキハキ話せていたか。
B 抑揚系列 (本調子にしないよう、変化をつける)	⑤声量の大小…大事なキーワードは大きく言うなど、声量に大小をつける。 ⑥速度の緩急…大事なところはゆっくり言うなど、話すスピードを変える。 ⑦音声の高低…大事な内容は低く、楽しい内容は高くなど、声のトーンを変える。 ⑧適切な間…集中してほしいときに間を空けるなど、何も言わない時間を作る。
C 構成系列 (わかりやすくするた め、順番を組み立てる)	⑨序本結…序論(1~2割)、本論(6~8割)、結論(1~2割)。 ⑩ナンバリング…「~は〇つあります。一つ目は~。二つ目は~。」 ⑪ラベリング…ひとまとまりの主張をキーワードでまとめる。 ⑫オリエンテーション…本題に入る前の「ツカミ」。
D 叙述系列 (説得力を高めるため の情報)	⑬エピソード…自分の体験談。 ⑭データ…数字やグラフ。 ⑮オブジェクション…予想される反論や例外を先に述べ、それに反論する。 ⑯ツール…パワーポイント、フリップなど、視覚化する。
E 聴衆系列 (聞き手を意識し、聞き 手に近づく)	⑰アイコンタクト…顔を上げて、聴衆の方を見る。 ⑱ジェスチャー…身振り手振りを加える。 ⑲ダイアログ…聞き手に話しかけたり、質問したりする。 ⑳ユーモア…笑いをとる。

プレゼンも「批判的に見る(物事に検討を加えて、評価する)」ことで、自分のプレゼン技術を磨くことにつながります。良いところ、改善すべきところを考えながら、仲間の発表を見ましょう!

ただ闇雲に紹介するわけではなく、プレゼンテーション20の技術からできるだけ多くの要素を自分たちのプレゼンに活かすことを目指していました。

まだ途中段階とのことでしたが、動画でご紹介できないのが残念なくらい、既に十分楽しく魅きこまれる発表の数々でした。ここからどこまで伸びていくのか楽しみです。

適切な間の取り方やジェスチャー、声の出し方、プレゼンの内容構成などは、一朝一夕で身につけられるものではありません。

しかし実は、時を同じくして英語科でも地元の魅力を海外の人に向け紹介するプレゼンを行なっています。↓

言語の習得 【英語】	あなたは大阪のインターナショナルスクールの交換留学に参加したい鹿中の2年生です。事前の交流の中で大阪に住む学生には北海道の冬以外の魅力があまり知られていないということを知りました。そこであなたは北海道には冬以外にも沢山の魅力があることを紹介することにしました。(総合的評価課題：地元の魅力を紹介するプレゼンテーション)	文化
---------------	---	----





こうした教科を横断した取組による相乗効果で、子どもたちは授業で得た知識をより早く自身の技術として身につけていきます。

さて、まだまだありますが、本号では次で最後とします。

今日の授業中、職員室には3学年の生徒の姿がありました。

変わるがわる違う生徒が現れては、何やらプリンターの前で相談をしています。

私の教員生活を振り返っても、こんな光景は初めてです。興味深く見てみると、



B5の紙をB4に印刷しようと頑張っています。

一体何をしているのでしょうか？

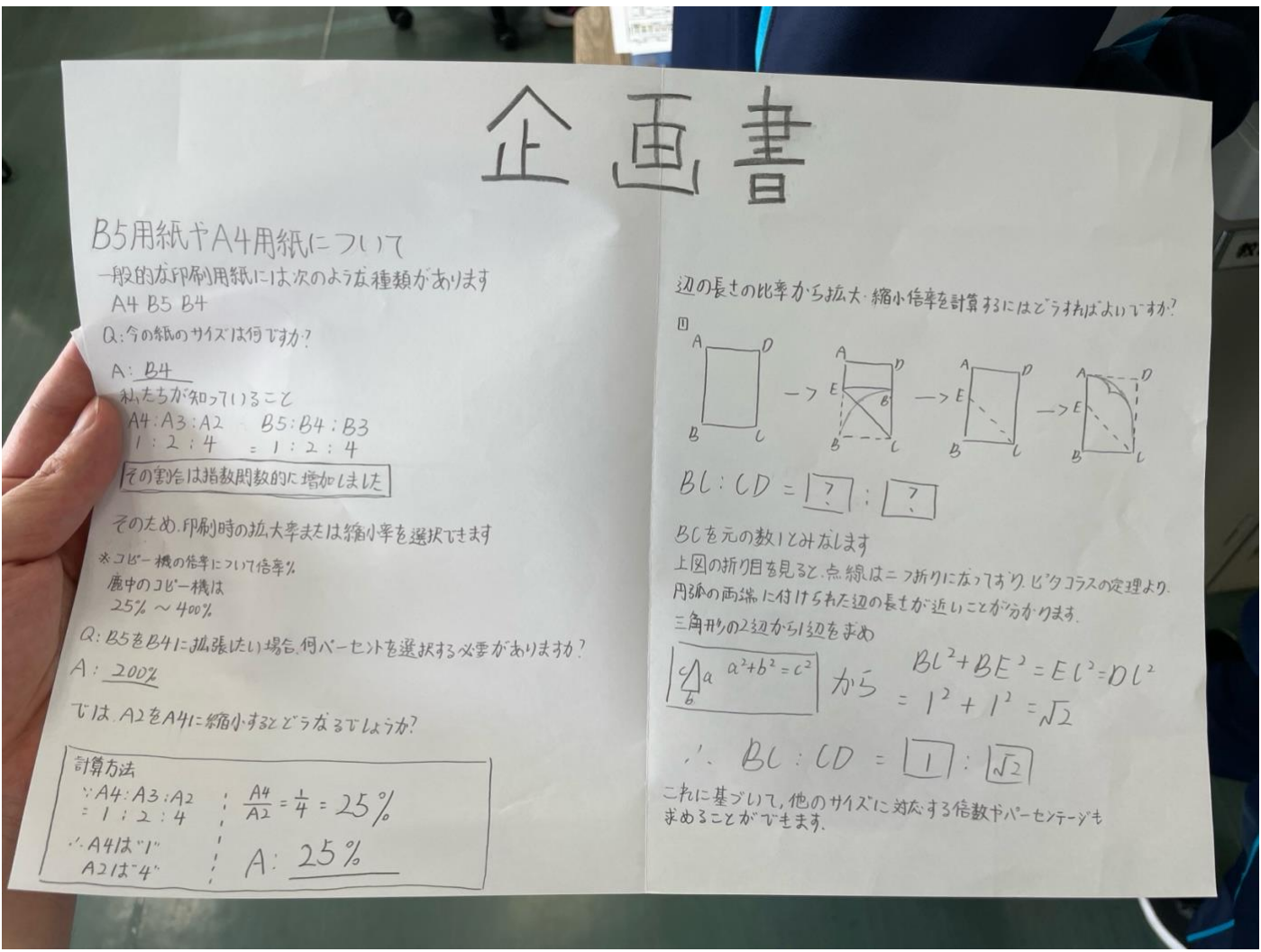


実はこれ、数学の授業の一コマです。

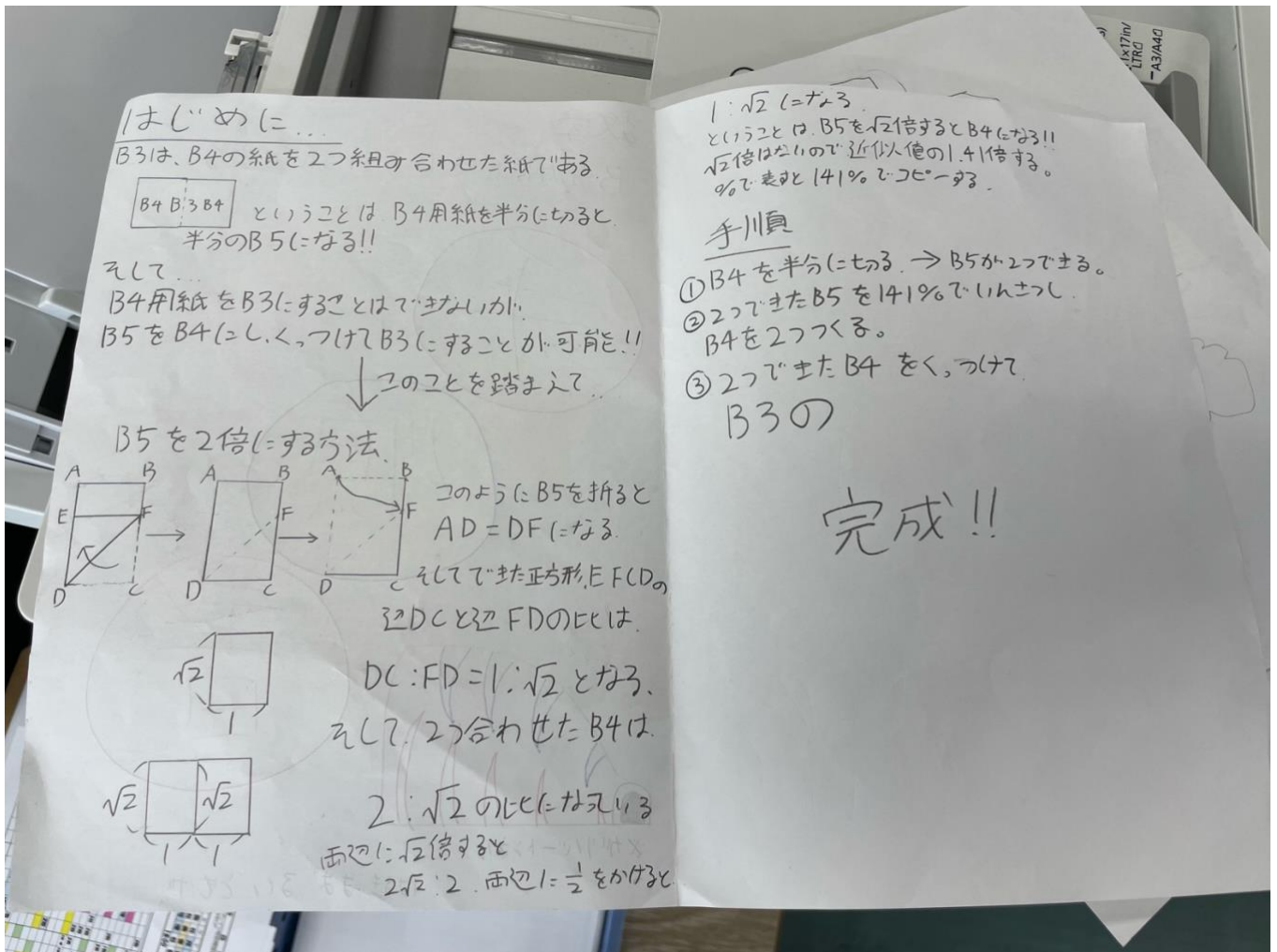
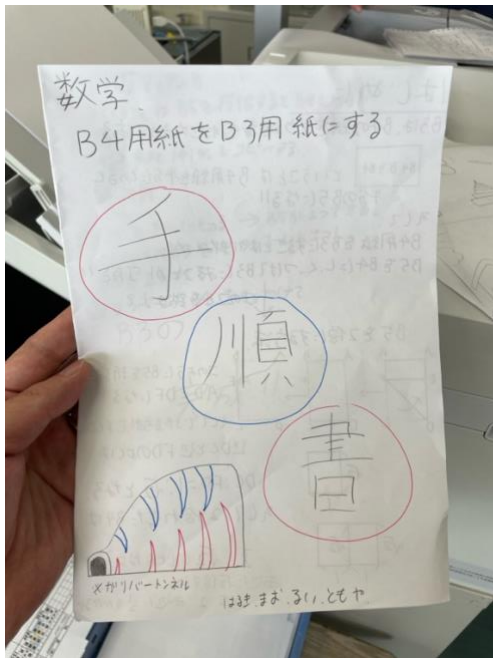
数学	B4サイズの下紙に学級目標を描いた。これを学級に掲示するため、一回り大きいB3サイズに拡大したものを作りたい。コピー機の倍率の意味を理解し、目的に応じた掲示物を作るための「手順書」を作成し、掲示物を完成させる。ただし、手元にある用紙はB4、B5のみで、コピー機にはB3サイズを印刷する機能がないものとする。	形式
----	---	----

↑ 総合的評価課題の取組で、それぞれの班が**数学で学んだ知識**を応用した「手順書」を作成し、この時はその実証実験のために職員室を訪れていた様です。

↓ 以下その手順書です。







私は何を隠そう数学には苦手意識が強いので、彼らに対し、深い尊敬の念が芽生えました。 スゴイ!!

本日はここまで。

最後までお読みいただき、ありがとうございます。

# Unit1総括的評価課題概要一覧【2学年編】

前号に引き続き、2年生の課題一覧をご紹介します。

教科	課題の概要（役割＋状況・課題＋成果物など）	重要概念
言語と文学 【国語】	あなたは出版社の歌人です。短歌のすばらしさを世間の人々に伝え、短歌の普及に努めたいと考えています。短歌に触れる機会が少ない素人にも短歌の美しさや面白さが伝わるよう、オリジナルの短歌に題材となった写真、解説文を添えて発表しよう！（総括的評価課題：短歌の創作と解説文）	創造性
数学	あなたは今年から1人暮らしを始める大学生です。家計で多くの割合を通信料が占めているため、自分の現在の使い方に合った料金プランを選びます。ある携帯会社のプランAとプランBのどちらを利用したほうが得になるかを数量の関係を捉え、数式（連立方程式）を用いて説明する。	形式
個人と社会 【社会】	あなたは豊臣秀吉の死後を継いだ天下を治める戦国大名です。日本各地を治める戦国大名たちに今後キリスト教を許可するか否かを理由を含めて説明しなければなりません。そのプレゼン資料を作成しなさい。	変化
理科	あなたはあなた自身のための管理栄養士です。あなた自身の好き嫌いを踏まえて、それでもバランスの良い食事にするには、どのような献立が考えられるか。科学的分析を通じて一食分の献立を作成しなさい。（総括的評価課題：献立の作成とレポート作成）	システム
言語の習得 【英語】	あなたは大阪のインターナショナルスクールの交換留学に参加したい鹿中の2年生です。事前の交流の中で大阪に住む学生には北海道の冬以外の魅力があまり知られていないということを知りました。そこであなたは北海道には冬以外にも沢山の魅力があることを紹介することにしました。（総括的評価課題：地元の魅力を紹介するプレゼンテーション）	文化
芸術 【音楽】	あなたは、ある合唱団のメンバーの一人です。あるとき、中学校の先生から合唱コンクールにむけて、「合唱する楽しさ・協力して楽曲を作り上げていく素晴らしさ」が生徒に伝わるように協力を依頼されました。そこで、数人の同じ合唱団のメンバーが集まり「合唱の楽しさを伝える」PVを作成することになりました。楽曲は“大切なもの”です。	コミュニケーション
芸術 【美術】	あなたは鹿追町の若き芸術家です。鹿追町の2つ作品展「馬の絵作品展」「花の絵作品展」に作品を出品することになりました。作品展の出品条件を満たした内容で、自らの作品を制作してください。（総括的評価課題：作品）	美的感性
保体	自分に合った効率の良い動きは何か（総括的評価課題：レポート）	アイデンティティ
デザイン 【家庭】	①鹿追中学校制服・校内服等検討委員会として、近未来の鹿追中学校の制服・校内服をデザインしてみよう！②体育館での避難所生活（夏季と冬季の両方）を想定して、安心・安全を考えて、学校を改善したり、生活を工夫したりして、人々との居心地をよくするために中学生としてできることについてまとめてみよう！	発展
デザイン 【技術】	領域A；身の回りの生活で使用されている既存製品（学校の机）についての見方・考え方を踏まえて学びを得ましょう。次に、体験的な学びを活かして、用意された正解がない問いのスパイスラックの接合の最適解を考え企画書作成。最後は、既存製品による課題解決が顧客にどのような影響をもたらすのかを考察します。（総括的評価課題；企画書）	コミュニティー



バックナンバー	概要
<a href="#">鹿中 IB 通信 N O.1</a> ↑クリックするとアクセスできます。	この通信の趣旨や国際バカロレアとは何か？について書いています。
<a href="#">鹿中 IB 通信 N O.2</a>	年度当初に行った生徒向けの IB オリエンテーションについて書いています。当日の動画や資料も見られます。
<a href="#">鹿中 IB 通信 N O.3</a>	こちらは保護者向けの IB オリエンテーションと、同日行われた参観授業（国語）を IB 視点で解説しています。
<a href="#">鹿中 IB 通信 N O.4</a>	参観授業紹介第二弾です。理科の授業の内容を《概念》と絡めて書いています。
<a href="#">鹿中 IB 通信 N O.5</a>	参観授業紹介ラストです。社会と保健体育の授業の内容から《IB で知識の定着にかける時間が減る問題》に対する工夫について紹介しています。
<a href="#">鹿中 IB 通信 N O,6</a>	IB 教育の大きな柱である ATL スキルと 10 の学習者像とはどういったものかについて、道徳の授業実践を元に解説しています。

鹿中 IB 通信 NO,7

十勝毎日新聞の記事になったという話と、1 学年の Unit 1 総括的評価課題の概要一覧を紹介しています。